

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

基本目標① 本気！やる気！元気！しろいし！
 ～若者が安心して働ける場をつくる～

【数値目標】

対象項目	数値目標	実績値
新規就農者数	5年間で170人	5年間で109人
新規雇用者数	5年間で75人	5年間で13人

KPI（重要業績評価指標）の実績値を再掲しています。

1 企業や教育機関、公共的機関の移転の誘致による雇用の確保

【重要業績評価指標（KPI）】

対象項目	KPI	実績値
女性従業員数	5年間で15人	5年間で0人
公共的機関	5年間で1機関	5年間で0機関
企業の誘致数	5年間で2事業所	5年間で0事業所

原則として、具体的な施策を実施したことにより、把握した数を計上しています。

※効果検証を「進捗していない」とし、今後の方針の理由と同様の場合は、空白としています。

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 女性にやさしい空間づくり	主要道路沿いや商店街の空き店舗などで、女性に人気のある店舗等を誘致し、併せて病院、薬局、カフェ、子育て支援施設等を集積し、女性が安心して働ける場所を作ります。	産業創生課 商工観光係 企画財政課 白石創生推進係 保健福祉課 子ども未来係	地域おこし協力隊員のサポート・コーディネートのもと、女性のニーズ調査等も行いながら空き家対策と有効活用を検討する。	進捗していない		事業内容の見直し（改善）	企業誘致に関する研究を行うとともに、都市計画区域なども考慮して検討を行う。
(2) 公共的機関の誘致	国・県・公益財団法人・NPO法人などの公共的機関を誘致します。	産業創生課 商工観光係 企画財政課 政策推進係	誘致に関する情報収集を行うと共に、誘致を図るための相談活動を行う。	進捗していない	公共的団体の情報が少ないため。	事業の継続	公共的団体の情報が少ないが、今後も引き続き情報収集を行い、誘致を図るために相談活動を行う。
(3) 教育・研究開発機関の誘致と連携	農業系などの教育・研究開発機関を誘致します。	産業創生課 商工観光係 農業振興課 振興係	誘致のための調査・研究を行い、実現性の検討	進捗している	平成30年度にいちごのトレーニングファームを建設、開設した。	事業の継続	新規就農者が独立経営できるようになるためには、肥培管理や経営面の研修をしっかりと受けることが必要。
(4) 白石町に合う企業の誘致	農村地帯に適合し、農林水産物の加工・販売に関わる企業や、事務系事業所などを誘致します。	産業創生課 商工観光係 農村整備課 水産林務係	誘致活動	あまり進捗していない	空家・空き店舗を活用した農作物の加工所誘致を調整したが、実現しなかった。	事業の継続	県企業誘致担当課と対策を協議する。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

2 新規就農者及び農業後継者の育成・確保

【重要業績評価指標（KPI）】

対象項目	KPI	実績値
新規農業従事者数	5年間で150人	5年間で109人
しろいし農業塾卒業生の農業従事者数	5年間で20人	5年間で7人
農業従事者（被雇用者）数	5年間で25人	5年間で13人

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 新規農業就業 者対策支援	現行新規就農対策の拡充により、就農前の初期投資の負担軽減や就農後一定期間の助成により、新規就農者や後継者の確保を図ります。	農業振興課 振興係	青年就農給付金、青年等就農資金、 機械・施設の整備に係る助成等	進捗している	青年就農給付金、青年等就農資金、機械・施設の整備に係る助成を実施。新規就農者確保対策協議会での支援実施。	事業の継続	初期投資が大きく、収益が不安定な新規就農者にとっては必要不可欠な支援である。
(2) しろいし農業塾	町内に就農及び移住してもらうため、首都圏等の大都市や町外から就農希望者を募集し、農業団体等で受入れ、農業研修生として農業全般に従事し、農業の担い手確保と定住促進へ繋がります。	農業振興課 振興係	研修生の実地研修、就農支援 ・第1期 H27～H28 ・第2期 H29～H30 ・第3期 R1～R2	進捗している	1期生4名、2期生3名が農業塾を卒業し就農した。また、3期生3名が研修中である。	事業内容の見直し（改善）	今後も塾生を募集し、新規就農者を増加させるとともに、農業塾卒業生の安定した農業経営を行うため、事業内容を点検し改善する。
(3) 農業従事者（被雇用者）確保対策	農業者等が年間を通じて従事者（町内在住者や移住者）を雇用し、町内の農業の安定的な生産を図るとともに就農するように育成することを積極的に支援します。	農業振興課 振興係	農業法人等への研修生受入れに対し、研修費の助成を行う農の雇用事業の推進	一定の進捗がある	5年間の農業従事者（被雇用者）が13人であったため。	事業の継続	高齢化、担い手不足が深刻化している本町の農業を維持していくためには、農業従事者の確保が重要であるため。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

3 新しいことへ挑戦する人への積極支援

【重要業績評価指標（KPI）】

対象項目	K P I	実績値
起業・創業者数	5年間で5人	5年間で0人
6次産品開発件数	5年間で46件	5年間で76件
新規農産物数	5年間で3品	5年間で17品

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 白石町創業者支援制度	町内金融機関等の協力を得て、白石町で起業・創業しようとする個人又は中小企業者の成長性の高い事業計画の実現を支援します。	産業創生課 商工観光係	創業支援事業計画を策定し、産業競争力強化法に基づく認定を受ける。	進捗していない	相談実績なし	事業の継続	これまでの相談実績はないが、今後相談があれば、商工会と連携を取り支援する。
(2) 儲かる農産物の開発	教育・研究開発機関との連携により、女性や高齢者でも作業のできる体力的に負担の少ない農産物の開発を行う人を支援します。	農業振興課 産業創生課	JA、県関係機関、民間組織との協議30年度までに3品目の開発を目指す。(道の駅対策)	進捗している	目標達成済み	事業の継続	新規の農産物開発研究はできたものの、普及までは至っていない。
(3) 6次産業化の推進	情報発信、販路開拓、補助事業活用などへの相談・指導を行います。	産業創生課 6次産業推進係 道の駅整備係	30年度までに40品目の開発を目指す。(道の駅対策)	進捗している	目標達成済み	その他	現在のところ、目標を達成しているため、令和2年度までの事業をもって補助事業は終了する。
(4) 商工業者などへの支援	新商品や新製品の開発、新たな販売促進及び商店街の賑わいづくりに取り組む人への支援を行います。	産業創生課 商工観光係 産業創生課 6次産業推進係	商工団体が国県の支援を受けて行う賑わいづくりに取り組む事業を進めていきたい。	一定の進捗がある	事業主へキャッシュレス決済普及事業に取り組み町内の販売促進に繋げた。	事業の継続	今後も商工会と連携を取り支援する。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

4 ふるさとで活躍する人材の育成

【重要業績評価指標（KPI）】

対象項目	K P I	実績値
Uターン者数	5年間で25人	5年間で0人

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) “ふるさと学”の推進	町内外の教育機関との連携を含め、町内小中学校での農業、地域の地理歴史及び文化の理解を深め、ふるさとに誇りと愛着を持ってもらい、将来のUターンにつなげていきます。	学校教育課 学校教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校副読本副読本を使っての学習の推進 ・職場体験学習 	進捗している	副読本については既に作成しており、3年ごとに改正している。また、職場体験については、特産品の収穫体験などを実施している。	事業の継続	農業、地域の地理歴史及び文化の理解を含め、ふるさとに誇りと愛着を持ってもらい、将来のUターンにつなげられるよう継続する。
(2) 地元定着の促進	大学、高等学校及び企業等と連携し、町内に居住し、県内で就職する高校生や大学生を増やすための取組を行います。	企画財政課 政策推進係	<ul style="list-style-type: none"> ①さが地方創生人材育成・活用プロジェクト（COC+：センター・オブ・コミュニティ・プラス） ・さがを創る大交流会への参加 ②佐賀女子短期大学との連携事業 ・郷土料理（須古ずし）調理学習の実施 ③白石高校及び佐賀農業高校との連携 ・佐賀農業高校…道の駅しろいしでの、サノボヌール、サノンマルシェの実施 ・白石高校…地域連携（「総合的な探求の時間」）事業の実施 	一定の進捗がある	人口減少対策や農業施策等、町が行っている事業についての学習や、就職活動をしている大学生への町（行っている事業等）の紹介、また、郷土料理や町内施設での販売体験を通して、町についての理解が深まり、郷土愛の醸成が図られた。	事業の継続	若者を地元に着させるには、町についての理解や郷土愛の醸成が必要であるため。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

基本目標② 来てよか、見てよか、食べてよか、住んでよか、しろいし！
 ～～白石への新しいひとの流れをつくる～

【数値目標】

対象項目	数値目標	実績値
観光入込客数（道の駅来店者含む）	平成26年 286,600人／年	平成26年 286,600人／年
	↓	↓
	平成31年 315,200人／年	令和元年 351,465人／年
移住者数	5年間で30人	5年間で 5人

9ヶ月間（R1.6～R2.2）の実績です。また、目標の30万人は有明沿岸道路開通後の目標値として設定しています。

1 白石町の魅力発信

【重要業績評価指標（KPI）】

対象項目	KPI	実績値
道の駅来店者数	30万人／年間	17.8万人／年間
町ホームページアクセス件数	平成26年 197,700件／年	平成26年 132,165件／年
	↓	↓
	平成31年 237,200件／年	令和元年 228,592件／年

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 道の駅整備事業	平成30年度の有明海沿岸道路福富インターチェンジ（仮称）の供用開始に合わせ、町の農水産物・6次産品や観光等の情報発信の拠点として整備します。	産業創生課 6次産業推進係 道の駅整備係	29・30年度の2カ年で施設の造成、建設を行う。	進捗している	令和元年6月1日オープンし順調に推移している。	更に発展させる	有明海沿岸道路福富IC開通を見据え、更なる利用促進をPRする。
(2) がばいよかこと発信事業	従来の特産物PRに加え、町そのものをマスコミやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等多様な手段を用いて発信することで知名度を上げ、特産物や地域資源を通じたファンの確保や移住者に選択してもらえる町としてPRします。	総務課 広報情報係	「道の駅しろいし」のオープンPRを行うことで、町の特産物等のPRを行う。 ・水曜市の開催（毎月1回） ・JR長崎駅（3月）	進捗している	ホームページアクセス増加とSNS（Facebook・LINE）等の利用者の増加	事業の継続	町のPRをするためにホームページのリニューアルや一層のSNS等を含めた各種メディアを活用しての情報発信

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

2 定住促進、移住支援

【重要業績評価指標（KPI）】

対象項目	K P I	実績値
空き家バンク登録件数	5年間で20件	5年間で28件
移住者数	5年間で30人	5年間で5人

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 農村型新興分譲 宅地の創設	有明海沿岸道路へのアクセスが便利な箇所に、区画を大きめに設定し、一部を農園やガーデニング等に用いて楽しめるようなコンセプトの住宅用地を確保整備します。	建設課 建築住宅係	基本計画策定のための検討	進捗していない		事業内容の見直し(改善)	用地取得など費用対効果の検証や、都市計画区域との整合性も含めた検討が必要であるため。
(2) 空き家・空き地 バンク、お試し移住	空き家・空き地バンクを創設し、登録された空き家を借り上げてのお試し移住や町民による移住者受入サポーターを設置し移住者の支援を行います。	企画財政課 白石創生推進係	空き家バンク制度の実施 【R2.3.25現在】 登録件数 28件 成約件数 11件(うち町外5件)	一定の進捗がある	空き家バンクについては、H30.3の制度開始以来、順調に事業ができています。	更に発展させる	R2から空き家バンクに空き地も対象として追加する。お試し移住についても、本町の特徴出せるような仕組みを研究していく。
(3) 県外への通勤者 への駐車場代の助成	通勤圏を広げてもらうため、駐車場代の助成制度を創設します。	企画財政課 白石創生推進係	制度づくりのための検討	進捗していない		事業内容の見直し(改善)	肥前白石駅の利用促進につながる対策を検討する。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

3 地域観光資源の再発見

【重要業績評価指標（KPI）】

対象項目	K P I	実績値
観光入込客数	平成26年 286,600人/年 ↓ 平成31年 315,200人/年	平成26年 286,600人/年 ↓ 令和元年 351,465人/年
観光ルート数	5年間で3本	5年間で3本

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 広域的なグリーンツーリズム	白石町で1年を通じて農業体験を行い、宿泊は近隣の温泉地や町内での民泊などとし、農業体験のパッケージ旅行の開発を行います。	産業創生課 商工観光係 産業創生課 6次産業推進係		一定の進捗がある	道の駅を拠点に、農業・観光体験を行う組織作りを実施	事業の継続	継続的な実施に向け調整する。
(2) 杵島山系歴史散策コースの設定	杵島山系にある史跡等を観光資源とするため、案内看板等の整備を行い、戦国時代の名将龍造寺隆信などと合せて売り込みます。また、歌垣公園の花の種類を限定し、ある程度の面積を確保し、アクセス道路や施設の整備を行います。	産業創生課 商工観光係 建設課 建設係 農村整備課 水産林務係	平成28～37年度 白石町観光振興基本計画に基づく観光推進協議会の中で協議を行い、平成28年度より検討を開始する。最終的には、観光事業を単独で行うことができる団体を設立する。アクセス道路の整備については、必要性・費用対効果を勘案し検討したい。	一定の進捗がある	・道の駅を拠点とした情報発信・案内看板設置等を行った。 ・県道久間白石線から歌垣公園までのアクセス道路を幅員3.5mから4.0mに拡幅、側溝を設置した。(平成27年度)	事業の継続	・引き続き町内への誘客につながるような情報発信を行う。 ・道路については、状況に応じて整備等を検討するが、当面の間は維持管理で対応していく。
(3) 交通手段の拡充(観光客の利便性の向上)	観光用いこカー(乗り合いタクシー)やレンタサイクルを新設し、町内JR駅を利用した観光客が手軽に町内を観光できるような環境を整備します。	産業創生課 商工観光係 企画財政課 白石創生推進係	・観光パンフの作成 ・観光案内板の設置 ・年間体験(観光・農業)の企画 ・モニターツアーの実施 ・観光地でのイベント開催	一定の進捗がある	試験的にレンタサイクルを実施	事業の継続	レンタサイクルの利便性向上を図りながら、JR駅・近隣市町を繋ぐシェアサイクルの実現に向け検討する。
(4) 地域資源活用観光振興事業での計画事業の実施	白石町観光推進協議会を設置し、観光ルートの設定と観光パンフレットや観光案内看板、標識を整備します。	産業創生課 商工観光係 道の駅整備係 6次産業推進係		一定の進捗がある	観光パンフレットの発刊、案内看板の設置等実施。 レンタサイクル(自動車も利用可)の観光ルート作成済	事業の継続	点検や改良を加えながら引き続き事業を継続する。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

基本目標③ 出会いに感謝！目指せ子宝のまち、しろいし！
～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

【数値目標】

対象項目	数値目標	実績値	
合計特殊出生率	1.60 (H24) → 1.65 (H31)	1.60 (H24) → 1.48	H31については、母の年齢階級別出生数（厚労省データ）が公表されていないため、現時点では算出できません。
婚活サポート事業による成婚数	5年間で20組	5年間で7組	

1 結婚推進対策の充実

【重要業績評価指標（KPI）】

対象項目	KPI	実績値
婚活サポート事業による成婚数	5年間で20組	5年間で7組

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 婚活サポート事業の拡充	婚活サポーターによる取組に加え、婚活事業に関連する民間企業や個人との連携、イベントや他の市町村との連携など多様な取組を行っていきます。	企画財政課 白石創生推進係	婚活サポーターの意見を聞きながら、出会いの場・交流の場のあり方を探り、実を結ぶ取組を実施する。	一定の進捗がある	婚活サポーターを中心に、引き合わせやイベント、セミナーを実施。このうちイベント等については、町内各団体の青年部と連携して実施し、多数の出会いの場を提供した。	事業の継続	事業開始から約6年が経過し、結婚を希望される方達などが婚活サポーターを信頼されていることと、関係団体との連携もとれ、事業内容も町のPRを含めて検討、実施しているため。

2 出産支援

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 不妊治療制度の拡充	不妊治療への支援を継続し、相談体制の充実を図ります。	保健福祉課 健康づくり係	引き続き、県不妊治療支援事業の対象者、県はじめまして赤ちゃん応援事業の人工授精の対象者の治療費の助成をしていく。	一定の進捗がある	不妊治療が出生につながるケースも一定は見られる。高額な医療費に対する一部助成により、経済的負担の軽減が図られ、治療を継続される夫婦は増加傾向にある。	事業の継続	町の財政負担は大きいですが、高額な不妊治療費の一部を助成することにより、子どもを望む夫婦の経済的負担軽減を図り、少子化解消の一助に資することを目的としているため、事業継続は必須となる。
(2) 多子世帯への助成	3人以上の子どもを持つ世帯の子育てに係る負担軽減措置を実施します。	保健福祉課 子ども未来係	保育の実施基準等の見直し検討	一定の進捗がある	保育料における多子世帯への軽減措置を行っている。	事業の継続	現在の軽減措置は可能な限り継続していく。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

3 子育て支援

【重要業績評価指標 (KPI)】

対象項目	K P I	実績値
町内での病児・病後児保育施設数	5年間で1施設	5年間で0施設

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 病児・病後児保育の実施	病児・病後児保育の町内実施に向けた環境整備を行います。	保健福祉課	方向性の検討	進捗していない		事業内容の見直し(改善)	引き続き町内実施の検討を行っていく。現在、江北町と協定を結び施設の利用を行っているが、他市町の実施施設の掘り起こしを行い、施設利用について検討を行っていく。
(2) 一時預かり事業等の充実	一時預かり事業と育児サロン事業を充実します。	保健福祉課 こども未来係 健康づくり係	【R2.3現在一時預かり実施施設】 ・ありあけ幼稚園、有明ふたば保育園、有明わかば保育園、ゆめてらす	一定の進捗がある	・平成27年度から母親の交流の目的で、ママカフェを実施した。 ・一時預かり事業は、現在4施設で実施している。	更に発展させる	一時預かり事業は、現在行っている施設に加え、白石、福富地域の保育所でも行えるよう検討していく。
(3) 子育て支援の情報発信強化	町内で実施されている子育て支援事業等の情報を集約し発信することで、白石町の魅力を伝えるとともに、子育て世代の不安の軽減を目指します。	保健福祉課 福祉係 こども未来係 健康づくり係	母子手帳アプリの導入	一定の進捗がある	母子手帳アプリを活用しての緊急的な情報発信に加え、町ホームページ、広報紙での情報発信を行った。	事業の継続	今後も正確で素早い情報発信に努めていく。
(4) 子育てに関するワンストップ相談体制の整備	妊娠期から小中学校児童・生徒までワンストップで相談できる窓口を一本化します。(子育て世代包括支援センターなど)	企画財政課 保健福祉課 長寿社会課 学校教育課	行政経営プランの中で検討する	進捗している	・幼児期の健診結果による発達障害児の支援については、保健福祉課、長寿社会課が連携し、一定の対応をしている。 ・令和2年1月に妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供実施するための子育て世代包括支援センターの設置ができた。	事業の継続	少子化とは比例せず、相談件数は増えているため、連携した対応は今後も必要である。
(5) 公園施設の充実	白石中央公園、福富マイランド公園、有明スカイパークふれあい郷などの主要公園で、子育て世代の意見を採り入れて、もっと子どもが遊びやすく、他市町村からも人が集まるような魅力のある公園整備を行います。	建設課 維持管理係 企画財政課 財産管理係 生涯学習課 福富公民館係	安全で魅力ある公園になるよう「子どもや女性、障がい者や高齢者も利用しやすいトイレに改築」 ○多目的運動広場トイレ ○わんぱく広場トイレ 「魅力ある公園づくり」 ○遊具施設の見直し ・老朽遊具等の撤去 ・新規遊具等の設置	一定の進捗がある	・多目的運動広場トイレは、みんなのトイレなど整備済み ・わんぱく広場(マイランド公園内)については、隣接する駐車場のトイレを改修済み(平成28年度) ・遊具については、点検を行っており、老朽化して撤去するような遊具はない。	事業内容の見直し(改善)	・わんぱく広場トイレについては、隣接する駐車場トイレを改修しているため、(広場にあるトイレの)利用頻度等を考慮しながら検討する。 ・今後、遊具が壊れて危ない状態になった時には遊具を撤去し、新規での遊具の設置を検討する。
(6) 切れ目のない子育て支援の実施	平成27年度から実施している小学6年生、中学3年生の給食費無償化を継続します。	学校教育課 学校給食係 保健福祉課 福祉係 健康づくり係 こども未来係	給食費の無償化は継続して実施する。 小学生・中学生医療費助成を現物給付とし、保護者の負担軽減を図る。 引続き、保育園・幼稚園児のフッ化物洗口の保護者負担無料とする。 学童保育指導員の資質向上	進捗している	・給食費については、進学を控えた年代の経済的な負担の軽減を実施した。 ・未就学児については、以前から現物給付としていたが、中学生まで現物給付化したことで、保護者の子育てに関する負担は、確実に減少した。 ・学童保育支援員の資質向上を促すため、県主催の研修会、町独自の研修会を開催し、参加してもらっている。 ・保育園・幼稚園児のフッ化物洗口の保護者負担無料は継続している。	事業の継続	・進学を控えた子を持つ保護者の経済的負担の軽減策として、今後も継続する。 ・現物給付化前と比較すると、町の財政負担は増加したが、子育て支援策としては有効であり、県内全市町が現物給付化しているため、事業継続は必須となる。 ・学童保育支援員へは、今後も研修会への積極的な参加を促す。 ・今後も、継続することで幼児のう蝕予防に努める。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

4 教育環境の整備

【重要業績評価指標 (KPI)】

対象項目	K P I	実績値
コミュニティ・スクール導入 学校数	5年間で11校	5年間で11校

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) コミュニティ・スクールの導入	現在進めている町内小中学校でのコミュニティ・スクール導入を推進します。	学校教育課 庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ・情宣活動（適宜） ・進捗状況の意見集約 ・活動組織の検討再編 ・活動内容の整理 	進捗している	目標達成済み	事業の継続	今後も、学校と保護者や地域が協働して「地域と共にある学校づくり」を進める。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

基本目標④ 暮らしに豊かさを、地域に絆を、人の温もりを感じるまち、しろいし！
～まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる～

【数値目標】

対象項目	数値目標	実績値
地域づくり協議会設置	5年間で8か所	5年間で0か所

1 町民協働によるまちづくり

【重要業績評価指標 (KPI)】

対象項目	KPI	実績値
地域づくり協議会の設立数	5年間で8か所	5年間で0か所
NPO法人の設立数	5年間で3件	5年間で1件

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 地域づくり協議会の設立支援	生活環境など地域の問題を地域住民が主体となって解決するため、地域内の各種団体などで構成する地域づくり協議会（仮称・概ね小学校区単位）の設立を支援します。この地域づくり協議会には、若者や女性の積極的な参画を促します。	企画財政課 白石創生推進係	<ul style="list-style-type: none"> 協働による地域づくり検討委員会の設置 ⇒目指す将来像として、「町民協働によるまちづくり」の方向性を町へ示す。 ・モデル地区による取り組み ⇒須古地区 	一定の進捗がある	「町民協働によるまちづくり」の方向性に基づき、R元年度モデル事業を実施しており、R2年度末に1カ所目の地域づくり協議会が設立される見込みである。	更に発展させる	R3年度までモデル事業を行い、最終的には、現在の8小学校区全てにおいて、地域づくり協議会の設立を目指す。
(2) NPO法人・CSO活動の支援	NPO法人やCSO活動の設立や活動支援を行うことにより、行政では行き届かないまちづくりや福祉サービスなどの担い手として協働していきます。	企画財政課 政策推進係	中間支援組織等と連携し、NPO法人設立や活動に対する支援体制を整える。 【令和2年3月15日現在】 ・NPO法人設立数…2団体（※設立申請手続中が1件） ・多文化共生型日本語教室「しろいしWa!Wa!Wa!」をボランティア団体との協働で実施	一定の進捗がある	日本教室の実施については、ボランティア団体主導で企画等を行っており、「住民主導」でのまちづくりの推進が図られた。	事業の継続	活動支援等については、行政が主導する様な関係ではなく、対等なパートナーとして「協働」する関係を推進する必要があるため

2 安全・安心で快適な住みよいまちづくり

【重要業績評価指標 (KPI)】

対象項目	KPI	実績値
自主防災組織の組織率	5年後に50%	5年後に32%

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 自主防災組織の組織化推進	自主防災組織の設立により、自助・共助の取組を推進します。	総務課 危機管理・防災係	六角川沿い地区、山沿いの地区への組織結成の推進	一定の進捗がある	地域における防災意識の高まりにより、今年度は5組織が新規設立され組織率については10%の伸びを示した。	更に発展させる	組織率は近年急速に伸びており、今後も設立検討中の地元区への説明会、防災に係る研修会開催などの啓発を積極的に行い組織率向上を図っていく。

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート

3 誰もが活躍できるまちづくり

【重要業績評価指標 (KPI)】

対象項目	KPI	実績値
シルバー人材センター年間登録者数	5年後に120人	5年後に112人

【具体的な施策】

施策名	内 容	担当所属	実施事業等 【平成27年度～令和元年度】	担当所属における内部評価			
				効果検証	理由	今後の方針	理由
(1) 生涯現役としての活躍促進	高齢者と区切ることなく誰もが年齢に関わらず活躍し、地域を盛り上げてもらうために、起業・創業、文化活動、自分のやりたい仕事ができる場所づくりなどを促進します。	長寿社会課 高齢者係 生涯学習課 生涯学習係	子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とし、町民1人ひとりが生涯にわたって自分自身を磨き、豊かな人生をおくるための生涯学習講座を開催する。	一定の進捗がある	・農村漁村民泊や野外活動、いのちの授業、出前講座などを含む様々な講座、文化活動や地域のサロン活動への支援などを行い、介護予防や交流の促進を図った。 ・白石町シルバー人材センターでの活動・活躍は、高齢者の社会参加と生きがい対策に有効であった。 ・白石町老人クラブ連合会の活動を通して地域を盛り上げる活動が積極的に行われ、社会参加と生きがいづくりの推進が図られた。	事業の継続	・白石町の高齢化率が34%を超え、高齢者が生涯現役として活躍していくことは、豊かな人生・豊かなまちづくりに必須である。
(2) 女性活躍の推進	政策の決定過程など様々なまちづくりに対する女性の参画を促し、合せて女性に配慮した公共施設の整備を行います。	企画財政課 白石創生推進係	公共施設の各種トイレの改修を行う際に、女性目線を入れて整備の設置などを要望する。 【R1.8現在】 審議会等への女性の参画状況 32.9%	一定の進捗がある	新しい審議会等の発足や既存審議会等委員の改選時には、女性の参画を促し女性委員の割合の向上に努めた。	更に発展させる	公共施設等管理に関する個別施設計画に基づく改修等を行う際に、女性に配慮した整備を要望するとともに、審議会等における女性委員の割合の更なる向上に努め、地区の役員等選出に対する男女の意識改革も推進する。
(3) 地域団体によるつながり強化	農業、商工業及び漁業団体の女性部同士や青年部同士など横のつながりの強化をはじめとして、各種団体への支援を通して、地域を盛り上げる新しい取り組みを促します。	企画財政課 白石創生推進係	農業・商工業・漁業団体における横のつながり強化のための支援を検討する。	一定の進捗がある	3団体（青年部）と連携してイベントを行うとともに、町のPRを行った。	更に発展させる	町内各団体の連携を推進、支援しながら、「町民協働のまちづくり」として地域づくり協議会の設立を進める中で、その地区内における各団体の連携を促す。